

[https://farid.ps/articles/western\\_media\\_complacency\\_whitewashing\\_genocide/ja.html](https://farid.ps/articles/western_media_complacency_whitewashing_genocide/ja.html)

# 偽のバランスの卑劣な欺瞞：ガザでのイスラエルのジェノサイドを隠蔽する西洋メディアの共謀

2025年7月4日現在、ガザの壊滅は想像を絶するものです。イスラエルの最新の攻撃開始以来、推定270,000人から378,000人のパレスチナ人が死亡しています。これは、公式に報告された57,000人の直接的な死者数を大きく上回る数字であり、その数自体も瓦礫に埋もれた遺体や立ち入りが不可能な地域によって制限されています。しかし、この前例のない大量殺戮に直面しても、主流の西洋メディアは「バランス」と「客觀性」の名の下に、ひどく歪んだ物語を提示し続けています。このいわゆる中立性は、共謀以外の何物でもありません。核武装した占領国家と、封鎖と爆撃下にある無国籍の被包囲民に等しい重みを与えることで、メディア組織はジェノサイド的暴力の隠蔽に積極的に参加しています。

## 抑圧された統計と死者数の隠蔽

数字はメディアが直面することを拒否する物語を語っています。2025年1月のThe Lancetの研究では、2024年半ばまでに64,000人以上の直接的な死者が推定され、この数字は41%過小評価されていると指摘されています。その後の推定では、飢餓、病気、インフラの崩壊による間接的な死亡を考慮し、2024年7月までに最大186,000人の総死者数を予測していました。それ以降のエスカレーションを考慮すると、現在の270,000人から378,000人の範囲は推測ではなく、紛争地域の過剰死亡に関する歴史的モデルに基づいています。それでも、メディアはガザ保健省の制限された数字に固執し、「ハマスが運営している」とレッテルを貼ってその信頼性を疑い、過去のイスラエル攻撃時の同省の長い正確性の記録を無視しています。この意図的な過小報告は、災害の規模を薄め、国際的な憤りを遅らせます。

## 残虐プロパガンダと否定された恐怖物語

ジャーナリズムの罪は単なる省略ではなく、歪曲です。戦争の初期に、グローバルな見出しが検証されていない恐ろしい物語を反響させました：40人の首を切られた赤ちゃん、オープンで焼かれた赤ちゃん、母親の胎内から切り取られた胎児。これらの主張は、政治家によって広く広められ、CNNやSky Newsなどのメディアによって無批判に増幅され、イスラエルの報復キャンペーンの感情的な口実として機能しました。米国大統領ジョー・バイデン自身も公開演説で首を切る主張を繰り返しました。これらの主張を裏付ける証拠は一切ありませんでした。イスラエル政府さえも後にそれらを確認できないと認めました。それでも、今日に至るまで、これらのメディアの多くは正式な撤回を発表していません。一部は、否定された主張を依然として事実として参照しています。

これはジャーナリズムではありません。これは残虐プロパガンダであり、大量殺戮を正当化し、反対意見を封じ込める仕組みです。検証されていない恐怖物語が即座に無批判な放送時間を得る一方で、文書化されたイスラエルの戦争犯罪は懐疑的に扱われたり、完全に軽視されたりするパターンが現れます：パレスチナ人の非人間化とイスラエルの免責の隔離です。

## 制度的偏見とメディアの共謀

この偏見の体系的な性質は明らかです。BBCは、中東編集者のラフィ・バーグの下で、**Gaza: Doctors Under Attack**のような調査コンテンツを埋もれさせ、Channel 4のようなより勇気あるメディアによって救出されました。CNNは、否定された後もイスラエルの主張を放送し続け、Al Jazeeraの**Failing Gaza**ドキュメンタリーで詳述された内部の異議を無視しました。The New York Timesのような米国メディア機関は、「ジェノサイド」という言葉を禁止するオーウェル的な編集方針を強制し、国際司法裁判所が南アフリカのイスラエルに対するジェノサイド訴訟をもっともらしいと判断したにもかかわらずです。アクセル・シュプリンガーなどのヨーロッパのメディアコングロマリットは、違法な入植経済に金銭的利害関係を持ち、政権奪取から直接利益を得ながら、ポリティコなどの子会社を通じて報道を形成しています。

## 証人の黙殺：ジャーナリズムに対する戦争

メディアの空白に加えて、イスラエルは攻撃開始以来、すべての外国人ジャーナリストのガザへの入国を禁止し、唯一の直接取材が包囲下のパレスチナ人ジャーナリストから来ることを保証しています。これらの地元記者は、報道のために最高の代償を払ってきました—約250人がイスラエルの軍によって殺され、明確に報道陣として識別された者を含む死者数です。証人を排除し、独立した声を黙らせることで、イスラエルはその出来事のバージョンがグローバルな物語を支配することを保証します。

## 偽のバランス：誤誘導の道具

これらのケースを結びつけるのは、単なる偏見ではなく、意図的な構造です。偽のバランスは中立的な枠組みではなく、誤誘導の道具です。気候変動否定者がかつて気候科学者と並んで提示され、反ワクチン派が医学的コンセンサスに反してプラットフォームを与えられたように、ガザのジェノサイドは占領者と被占領者の間の偽の等価性に埋もれています。しかし、これは討論ではありません。これは片側の虐殺であり、25万人以上のパレスチナ人が死亡し、イスラエル側ではその数のわずかな割合に過ぎません。

## 共謀のコスト

この欺瞞の結果は甚大です。国際的な行動を遅らせます。加害者が免責で行動することを可能にします。包囲下の全人々の苦しみを消し去ります。将来の犯罪を助長します。西洋メディアは中立性のふりを捨て、ガザでのイスラエルの行動の現実に対峙し、彼らが拡散した捏造された嘘の記録を正さなければなりません。ガザの血はそれ以下のものを要求しません。

沈黙すること、あるいはもっと悪いことに「バランス」を保つことは、ジエノサイドの側に立つことです。